

2025年 第41週（10月6日～10月12日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 百日咳について
- 2 インフルエンザについて
- ※兵庫県では、流行開始の目安とされる定点当たりの患者数100人を超えるました。
- 3 管内の感染症発生状況（百日咳、インフルエンザ以外のもの）

I 百日咳について

当所管内では今週百日咳の報告はなく（累積患者数17人）、県内では41人（先週38人）の報告があり、今年の累積患者数は3,234人となりました。百日咳は主に患者の咳やくしゃみなどにより、しぶきに含まれる細菌を吸い込むことによって感染（飛沫感染）し、7～10日の潜伏期間を経て風邪症状がみられ、次第に咳の回数が増えて強くなります（約2週間）。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します（約2～3週間）。ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないで、成長後に感染することがあります。予防として、咳エチケットなどの一般的な感染対策が有効となります。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

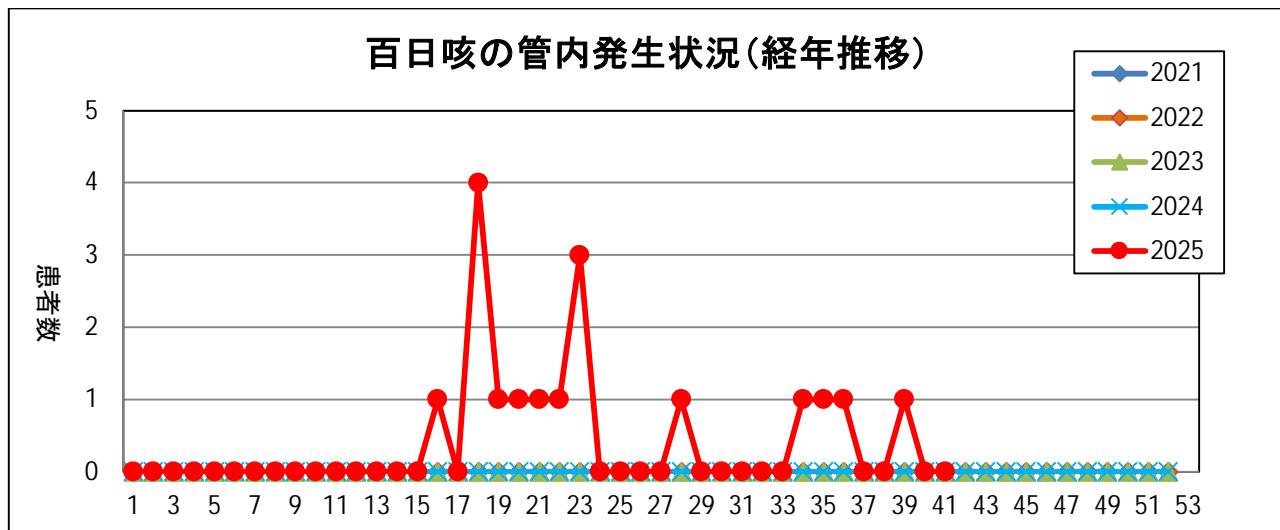
[兵庫県感染症情報センター](#)

[百日咳について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[百日咳](#)

[百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（第三版）](#)

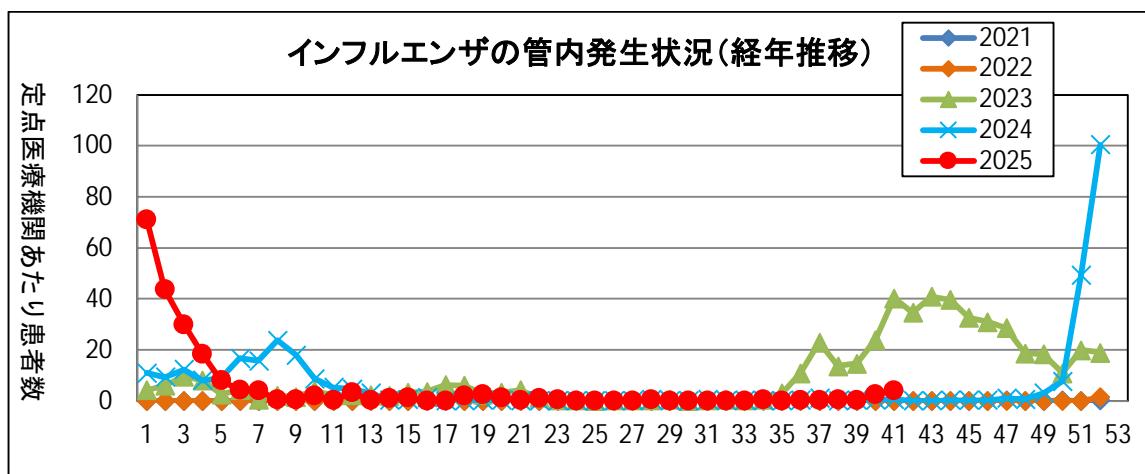


2 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週4.00人で、先週(2.67人)から増加し、兵庫県内の定点あたり患者数も今週1.14人で、先週(0.98人)から増加し、流行開始の目安とされる定点当たりの患者数1.00人を超えるました。

また、県内の学校等において、当所管内分1件を含め、今週11件(先週11件)の臨時休業が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[インフルエンザ](#)

3 管内の感染症発生状況(百日咳、インフルエンザ以外のもの)

(1) 管内の全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症)

第41週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症)

(2025年41週)※定当: 定点当たり患者数

インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	COVID-19
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
12	4	-	-	1	0.5	4	2	-	-

ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	急性呼吸器感染症
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	1	0.5	-	-	183

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

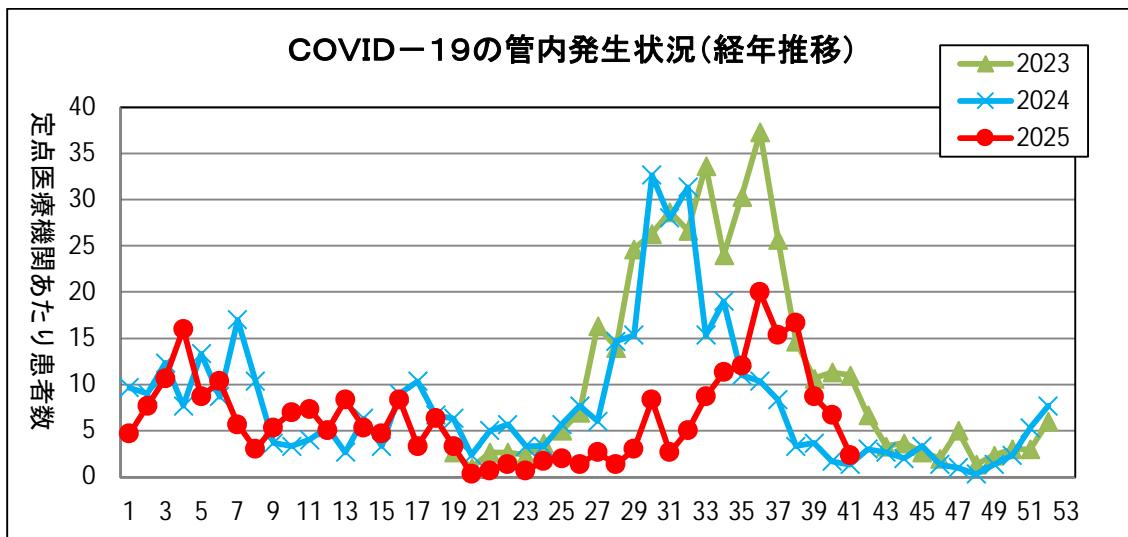
◆厚生労働省ホームページ

[急性呼吸器感染症\(ARI\)](#)

管内では、新型コロナウイルス感染症の定点あたり報告数が今週2.33人（先週6.67人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週3.58人（先週4.29人）となり、先週から減少しました。地域別では丹波保健所管内が8.67人と最も多く、福崎保健所管内8.00人、赤穂保健所管内5.50人となっており、年齢別では、10歳代が30%と最も多く、次いで60歳代が11%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週4件（先週5件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[コロナウイルス感染症](#)